医療従事者等の認知症対応力向上の促進

かかりつけ医・認知症サポート医

● 身近なかかりつけ医が認知症に対する対応力を高め、必要に応じて適切な医療機関に繋ぐことが重要。かかりつけ医の認知症対応力を向上させるための研修や、かかりつけ医の認知症診断等に関する相談役等の役割を担う認知症サポート医の養成を進める。

かかりつけ医

- ・早期段階での発見・気づき
- ・専門医療機関への受診誘導
- ・一般患者として日常的な身体疾患対応
- ・家族の介護負担、不安への理解





助言

認知症サポート医

- ・かかりつけ医研修の企画立案・講師
- ・かかりつけ医の認知症診断等に関する 相談役・アドバイザー
- ・地域医師会や地域包括支援センターと の**連携づくりへの協力**
- ・認知症医療に係る正しい知識の普及を推進

【事業名】 かかりつけ医等の対応力向上研修、認知症サポート医の養成研修事業

【目標値】 かかりつけ医:2025(令和7)年 9.0万人

※2021(令和3)年度末実績:7.2万人

認知症サポート医:2025(令和7)年 1.6万人

※2021(令和3)年度末実績:1.2万人